

# 速報 立山11号

## 星稜高校

星稜高校演劇部 作



## 「またこの空の中で」

### ○幕間討論

Q. 途中のカモリのところであった小道具をどうやって作ったか。

A. 布をちぎって、百円ショップにあったライトを巻き込んで作った。

Q. 裁判の時にフリーターや無職の人は怪しいと考えたり犯罪者と決めつけたりするのは現代社会の闇を表現しているのか。

A. 最近はスマホやインターネットなどですぐに人を傷つけることができるから、目の前だけでなく、ちゃんと本質を見てほしい。

Q. 衣装は手作りか。

A. あるものを組み合わせて作った。ドレスは購入したもの。カラスは手作り。

Q. 今回台本は創作だが、どうやって作ったのか。

A. 最初は練習をせず、ずっと話し合っていた。OBやOGの方々にも手伝ってもらって創作した。

Q. カラスの鳴き声はどうやって完成させたのか。

A. 動画を見て練習した。最終的にはカラスと会話できるようになりたかった。

### ○あらすじ

航空業界で話題の姉妹は、アクロバティックグライダー選手。その世界選手権の決勝戦に妹のアカネが挑む。姉の合図を受けてスタートするも、直後に強風に巻き込まれてしまう。

そして起こる不思議な出来事。しゃべるカラスに、元気なおばあちゃんたち、変な裁判に夢食い島。どれもうっすら記憶にあるものばかり。大好きな姉との不思議な冒険。姉のリサの夢、妹のアカネの夢、共に夢見た空への思い。様々な思いを胸に\_\_\_\_\_。

### ○客席インタビュー

- ・大会を重ねるごとにクオリティが高まって見るたびに感動した。
- ・夢食い人さんと裁判長がとても好きだった。
- ・大道具がとても作り込まれていてすごかった。
- ・自分には兄弟や姉妹はいないけどお互いの悩みを相談して分け合えたりするんだととてもうらやましく感じた。姉妹愛にとっても感動した。
- ・社会の闇や批判が盛り込まれていて今の時代にやるにふさわしいテーマだと思った。

星稜高校の皆さん、

お疲れ様でした！